

座 談 会

生成AIが変える金融市場・資産運用業界への影響

と き 2023年9月29日（金）  
と ころ 日本証券アナリスト協会会議室

《出席者》（敬称略、五十音順）

和 泉 潔

（東京大学 大学院工学系研究科システム創成学  
専攻 教授）

神 田 竜 児

（ブルームバーグ クオンツソリューション部  
アジア太平洋共同責任者）

副 島 豊

（SBI金融経済研究所 研究主幹 兼  
SBIホールディングス SBI生成AI室プロジェ  
クトコーディネーター）

廣 瀬 勇 秀 CMA

（三井住友DSアセットマネジメント 運用部  
運用開発グループ グループヘッド）

《司会者》

岡 田 克 彦

（関西学院大学 大学院経営戦略研究科 教授）

目 次

1. 生成AIの概要
2. 生成AIが業界に与える影響
3. 海外との比較
4. 今後について
5. まとめ

## 1. 生成AIの概要

岡田 生成AIは、2022年11月にGPT-3が公開されて以降、数カ月単位で進化し、現在ではGPT-4が一般ユーザーに浸透している。科学論文から古典、文学作品を含む巨大なコーパスを事前学習した人工知能は、ほぼ完全な自然言語を操り、何を

尋ねても的確に回答する。これまでにない高度な知能を持ったチャットボットの登場は、公開直後から爆発的に支持され、ロイター通信によるとわずか2カ月で1億のアクティブユーザーを獲得したという。このユーザーベースの拡がりには過去のいかなるアプリケーションよりも早い。

現在のところ、生成AIの持つ高度な機能が、